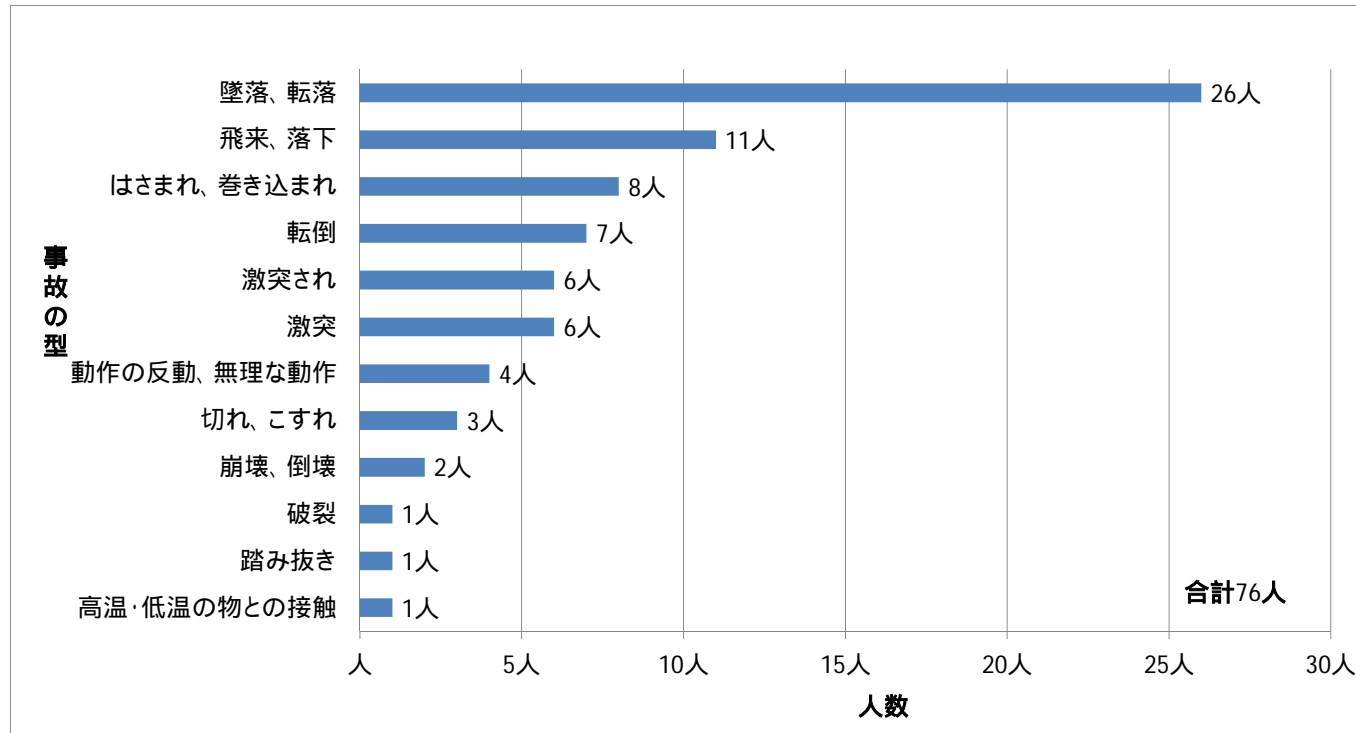


建築工事(鉄骨・鉄筋コンクリート)の労働災害の発生状況(24年1～12月)

H25.3.31確定

1. 災害の原因別(鉄骨・鉄筋コンクリート工事業)



墜落、転落については、屋根からの墜落(5人、うち1人はスレート板の踏み抜きによるもの)鉄骨の上からの墜落(2人)のほか、屋上スラブ、駆体エントランス底上等、駆体からの墜落が多く発生しています。このほか、足場(ローリング足場等を含む、3人)、高所作業車(1人)、バックホウのバケット(1人)、移動はしご(5人)等からの墜落も、発生しています。

飛来、落下については、資材の積込・積卸作業や片付け作業中に、つり上げフックから荷が外れ(又は荷が振れ)たり、荷を持っていた手が滑り、荷に挟まれ・接触する災害が多発しています(9人)。

解体工事現場で、バックホウのアタッチメント交換中の災害が3人発生しています(交換作業中のアタッチメントの落下・ブームとアタッチメントの間へのはさまれ)。

型枠組立・解体作業中では、パイプサポートが倒れて激突された災害や移動式クレーンで吊り上げた荷でパイプサポートにぶつかり倒れられ激突されたという災害が発生しております。